

『瓦礫のオペラ〜劇的なるものをめぐって』 構成:流山児祥
『踊る小人』 村上春樹:作
●男
●小人
○女
○ある女!
○ある女2

『ゴドーを待ちながら』 サミュエル・ベケット:作
●エストラゴン
●ウラジミール

『戦場のピクニック』 フェルナンド・アラバル:作
○少年兵ザ歩
●テパン氏
○テパン夫人
○少年兵ゼボ
○衛生兵1
○衛生兵2

『欲望という名の電車』 テネシー・ウィリアムス:作
○ブランチ
●ミッチ

『ロミオとジュリエット』 ウイリアム・シェイクスピア:作
●ロミオ
○ジュリエット

おーぶにんぐ:全員によるムービング。

- 1 わたしはわたし
 - 2 あなたをわたし
 - 3 あなたへわたし
 - 4 わたしもり
 - 5 わたしはわたし
 - 6 あなたをわたし
 - 7 あなたへわたし
 - 8 わたしもり
 - 9 夢の中で小人が出てきて
 - 10 「踊りませんか?」といった。
- 1 それが夢の中だということはもちろんわかっていたのだけれど、わた
2 「申し訳ないけど疲れていておどれそうもない」
3 と、丁寧に断った。
4 小人は別にそのことで気を悪くしたりはしなかった。
5 小人は一人で踊った。

シーン・1【踊る小人・1】:村上春樹・作

小人と男の対話。音楽。
音楽「Un Beso Mas・Guitarra Azul」(M・1)
人々は踊っている。
ゴシックのトコロは同時に発音する。

男 君は本当に踊りがうまいね。まるで音楽そのものだよ。 男
小人 ありがとう。 小人
男 そんな具合に、いつも踊っているのかい? 男
小人 まあそうだね。話せば長いんだけど、あんたはたぶん、あまり時間 小人
がないんだろうねえ。
男 ……。 男
小人 北の国からきたんだ。北の人間は誰も踊らない。誰も踊り方を知らない。 小人
誰も踊りなんでもものがあることじたいを知らない。でもあたしは 小人
踊りたかった。足を踏み、手をまわし、首を振り、ぐるりとまわった 小人
かった。こんな風にね。(ぐるりとまわってみせる)こんな風に踊りた 小人
かった。それであたしは南に来た。南に来て踊り手になり、酒場で 小人
踊った。あたしの踊りは評判になり、皇帝の前でも踊った。そうあ 小人
れはもちろん革命の前の話だけだね。革命が起こって、あんたも 小人
知ってのように皇帝がお亡くなり、あたしも町を追われた。そして 小人
どうも踊りを見せてくれてありがとう。とても楽しかった。 男
小人 いいさ。 小人
男 もう会えないかもしれないけど、元気だね。 男
小人 いいや、あんたはまたここに来ることになる。ここにきて、森に住み、 小人
そして来る日も来る日もあたしと踊りつづけるのだよ。そのうちあ 小人
んただってとても上手に踊れるようになる。(ぼちん、と指をならす)
男 何故僕がここに住んで君と一緒に踊るようになるんだい? 男
小人 決められているんだよ。もう誰にもそれを変えることはできない 小人
んだ。だからあたしとあんたはまたいざれ顔をあわせることになる。そ

音楽。歐陽菲菲の「恋の追跡」[Koi No Tsuiseki -Love Chase-
・Ouyang Feifei]
(M・2)が流れ全員のダンス。
♪逃げるあなたを止めて!
恋の終わりを止めて!
何があなたを かせた 今は捨てないで
他の誰かに よそ見しないで
恋は渡せないよ
急ぐあなたを止めて!
つる思いを止めて!
わたし以外のひとに 今は生きないで

全員 夢から目が覚めるとそこは瓦礫の街の塔の真下だった。 全員

シーン・2【ゴドーを待ちながら・1】サミュエル・ベケット:作

廢墟(瓦礫)の歌劇「圍繞(巡遊)戲劇性 構思:流山児祥
《跳舞の小人》 原作:村上春樹
男
小人
女人
某女1
某女2

《等待果陀》劇作家:薩繆爾・貝克特
愛斯特拉岡
弗拉季米爾

戰場上の野餐
少年士兵 渣波
戴班先生
戴班太太
少年士兵 傑波
擔架兵1
擔架兵2

《欲望號街車》劇作家:田納西威廉斯
白蘭琪
米奇

《羅密歐與朱麗葉》劇作家:威廉・莎士比亞
羅密歐
朱麗葉

開場:由全員のMooving。

- 1 我要遞出去
 - 2 我要把你遞出去
 - 3 我要遞給你
 - 4 滿滿的我
 - 5 我要遞出去
 - 6 我要把你遞出去
 - 7 我要遞給你
 - 8 滿滿的我
 - 9 夢中出來一個小人
 - 10 「跳不跳舞。」他這樣問我
- 1 我完全清楚這是做夢。但夢中的我說
2 對不起,我很累恐怕跳不成的。
3 這樣婉言謝絕
4 小人並未因此不快。
5 一個人跳起舞來。

遞一場《跳舞的小人》

小人和男人的對話。
音樂 M1「Un Beso Mas・Guitarra Azul」
人們在跳舞。
粗斜體的字,大家一起說。

你跳得真好,簡直是音樂本身。
謝謝。
你經常這麼跳?
算是吧。說起話長。你大概沒什麼時間吧?

……。
我是從北國來的。北國人誰也不跳舞,誰也不懂得跳,誰也不知道還有 小人
跳舞這回事。可我想跳,想踢腿、揚臂、擺頭、旋轉。(旋轉男人看)就像 小人
這樣。所以才來到南方。來南方當了舞者,在酒吧跳舞。我的舞受到好 小人
評,在皇帝面前也跳來看。啊,那當然是革命前的事了。革命發生,然 小人
後如你所知,皇帝死了,我也被趕出城,開始在森林中生活。(音樂停)

謝謝你的跳舞表演,看得我非常愉快。
沒什麼。
也許再見不到了,多保重!
哪裡。你一定還會來這裡。來這裡住在森林中,日復一日和我一同跳 小人
舞。那時你也會跳得十分動人。(小人啞一聲打個響指。)

為什麼我要來這裡和你跳舞呢?
命中注定。這已是任何人都改變不了的。所以,你我早晚還要見面。再 小人
會!

音樂。歐陽菲菲的「就這樣甜蜜活到底」[Koi No Tsuiseki -Love Chase-
・Ouyang Feifei]
M2 全員跳舞

夢醒了就站在瓦礫街的鐵塔下面。

第二場《等待戈多》劇作家:薩繆爾・貝克特

エストラゴン ………、ああ、そうか、が、もうどうにもならん。
ウラジミール いや、そうかしれん。そんな考えにとりつかれちゃならんと思っ
て、わたしは自分にいかせてきたんだ。おい、お前、まあ考え
てみるよ。まだ何もかもやってみたわけじゃない、で、……ま
た戦いはじめた。やあ、お前またいるな、そこに。

エストラゴン そうかな？
ウラジミール また会えたのは嬉しい。もういつかまたきだと思ってた。
エストラゴン 俺もな。
ウラジミール 何をするかな、この出会いを祝って……立ってくれ、さあ抱き合
おう。

エストラゴン いいよもう、それよりこいつをぬぐの手伝ってくれって。
ウラジミール 手に手をとってあの塔の上から身投げすることも出来たろう。あの
頃は立派な身なりをしていたもんだ。今じゃもう手遅れさ、わたし

エストラゴン 達はもうあの塔に登らせてもらえやしない。なにしてる。
ウラジミール くつをぬいでるんだ。お前はくつをぬいどことがないのか。
エストラゴン きのうや今日じゃあないじゃないか、全く。くつは毎日ぬげよ。
ウラジミール よう、手伝ってくれ。
エストラゴン 痛いのかい。
ウラジミール 痛いのかい！こいつときたら、いまさら痛いのかい！ときた。
ウラジミール あっ苦しむのはいつもお前だけなんだろうよ、わたしは問題になら
ないんだ。お前がわたしの身代わりになったところを一度見たい
よ。少しは言うことが変わるだろう。

エストラゴン お前も痛かったことがあるのかい。
ウラジミール 痛かった！こいつときたら、いまさら痛かったかってきくんだから。
エストラゴン だからってお前、ボタンをはずしっ放しにしとくことはなからお。

ウラジミール おっ、ほんとだ。ちいさいものでも野放しはいけな
い。いつでも最後の瞬間まで我慢しているんだからな。
エストラゴン なかなかだ、「最後の瞬間」。そういつたのは、誰だっけ？
ウラジミール 手伝ってくれないのかい。
エストラゴン 「最後の瞬間」、それがとにかくやってくると思う。

ウラジミール 「Minor Swing - Django Reinhardt & Stéphane Grappelli」
(M・3)

ウラジミール すると、なんだか、まるで、こう変な気持ちになる。なんといつたも
んか？同時に、こう……然として愕然とした。おやおや！ほっと

エストラゴン なんにもない。
ウラジミール 見せてごらん。
エストラゴン 見たってなんにもないよ。
ウラジミール もう一度はいてみな。
エストラゴン ちょっと風に当てよう。
ウラジミール まさにこれが人間さ、悪いのは自分の靴なのにくつにくつてかか
る。少々心配になってきたな。

エストラゴン なんだ。
ウラジミール だんな、悔いあらためることにしたらどうか？
エストラゴン なにをさ？
ウラジミール そうだな……そんなこまかいことはどうでもよかるう。
エストラゴン 生まれたことをか？世の中の奴はみんなバカさ。(音楽やむ)
ウラジミール プッ！(つばを吐く)
エストラゴン 悪くないな、いい眺めだ。
ウラジミール (ボストンバッグから紙のカメラをとりだしウラジミールに向ける)
エストラゴン プッ！(つばを吐く)
ウラジミール 悪くないな、いい眺めだ。
エストラゴン プッ！(つばを吐く)
ウラジミール 悪くないな、いい眺めだ。
エストラゴン プッ！(つばを吐く)
ウラジミール 悪くないな、いい眺めだ。
エストラゴン プッ！(つばを吐く)
ウラジミール 悪くないな、いい眺めだ。
エストラゴン プッ！(つばを吐く)
ウラジミール 悪くないな、いい眺めだ。

音楽。歐陽菲菲の「恋の追跡」【Koi No Tsuiseki -Love Chase-
Ouyang Feifei】
(M・4)が流れ全員のダンス。

♪逃げるあなたを 止めて！
恋の終わりを 止めて！
何があなたを かえた 今は捨てないで
他の誰かに よそ見しないで
恋は渡せないよ
急ぐあなたを 止めて！
つる思いを 止めて！
わたし以外のひとに 今は生きないで

エストラゴン もう行こう。
ウラジミール だめだ。
エストラゴン 何故？
ウラジミール 待った、ゴドーさんを。待った 「最後の瞬間」を
エストラゴン あそうか。たしかにここなんだろうな。
ウラジミール 何が？
エストラゴン ゴドーさんとの待ち合わせさ。
ウラジミール 灌木の前だっていったからな。ほかにあるかい。
エストラゴン こりゃ何だい。
ウラジミール 柳かな。
エストラゴン なら葉っぱはどこ。
ウラジミール 枯れちゃったんだらうな。

愛斯特拉岡 ………啊、對！但毫無辦法。
弗拉季米爾 我開始拿定主意。我這一輩子老是拿不定主意、老是說、弗拉季米
爾、要理智些、你還不曾什麼都試過哩。於是我又繼續奮鬥。(他沉
思起來、咀嚼著“奮鬥”兩字。向愛斯特拉岡) 哦、你又來啦。

愛斯特拉岡 是嗎？
弗拉季米爾 看見你回來我很高興、我還以為你一去再也不回來啦。
愛斯特拉岡 我也一樣。
弗拉季米爾 終於又在一塊兒啦！我們應該好好慶祝一番。可是怎樣慶祝呢？(他
思索著) 起來、讓我擁抱你一下。

愛斯特拉岡 啊、別羅唆啦、幫我把這混賬玩意兒脫了吧。
弗拉季米爾 手拉著從巴黎塔頂上跳下來、這是首先該做的。那時候我們還很體
麵。現在已經太晚啦。他們甚至不會放我們上去哩。你在幹嗎？

愛斯特拉岡 脫靴子。你難道從來沒脫過靴子？
弗拉季米爾 靴子每天都要脫、難道還要我來告訴你？你幹嗎不好好聽我說話？
愛斯特拉岡 幫幫我！
弗拉季米爾 你腳疼？
愛斯特拉岡 腳疼！他還要知道我是不是腳疼！
弗拉季米爾 好像隻有你一個人受痛苦。我不是人。我倒想聽聽你要是受了我那樣
的痛苦、將會說些什麼。

愛斯特拉岡 你也腳疼？
弗拉季米爾 腳疼！他還要知道我是不是腳疼！
愛斯特拉岡 好像隻有你一個人受痛苦。我不是人。我倒想聽聽你要是受了我那樣
的痛苦、將會說些什麼。好像隻有你一個人受痛苦。我不是人。我倒
想聽聽你要是受了我那樣的痛苦、將會說些什麼。

弗拉季米爾 腳疼！他還要知道我是不是腳疼！從來不忽略生活中的小事。
愛斯特拉岡 你期望什麼？你總是等到最後一分鐘的。
弗拉季米爾 最後一分鐘……希望遲遲不來、苦死了等的人。這句話是誰說的？
愛斯特拉岡 你幹嗎不幫幫我？

弗拉季米爾 「Minor Swing - Django Reinhardt & Stéphane Grappelli」
(M・3)

弗拉季米爾 有時候、我照樣會心血來潮。跟著我渾身就會有異樣的感覺。我怎麼
說好呢？又是竄心、又是……寒心。(加重語氣) 寒--心。奇怪。拿
什麼也沒有。

愛斯特拉岡 給我看。
弗拉季米爾 沒什麼可給你看的。
愛斯特拉岡 再穿上去試試。
愛斯特拉岡 我要讓它通通風。
弗拉季米爾 你就是這樣一個人、腳出了毛病、反例責怪靴子。(他又脫下帽子、
往帽內瞧了瞧、這件事越來越叫人寒心。

愛斯特拉岡 什麼事？
弗拉季米爾 我們要是懺悔一下呢？
愛斯特拉岡 懺悔什麼？
弗拉季米爾 哦……咱們用不著細說。
愛斯特拉岡 懺悔我們的出世？
弗拉季米爾 呸！(他吐了口唾沫)
愛斯特拉岡 美麗的地方。妙極了的景色。
弗拉季米爾 從手提包拿出紙製相機對著弗拉季米爾
愛斯特拉岡 呸！(他吐了口唾沫)
弗拉季米爾 美麗的地方。妙極了的景色。
愛斯特拉岡 呸！(他吐了口唾沫)
弗拉季米爾 美麗的地方。妙極了的景色。
愛斯特拉岡 呸！(他吐了口唾沫)
弗拉季米爾 美麗的地方。妙極了的景色。
愛斯特拉岡 呸！(他吐了口唾沫)
弗拉季米爾 美麗的地方。妙極了的景色。
愛斯特拉岡 呸！(他吐了口唾沫)
弗拉季米爾 美麗的地方。妙極了的景色。

突然傳來歐陽菲菲的

咱們走吧。
咱們不能。
為什麼？
咱們在等待戈多。
啊！你肯定是這兒嗎？
什麼？
我們等的地方。
他說在樹旁邊。你還看見別的樹嗎？
這是什麼樹？
我不知道。一棵柳樹。
樹葉呢？
準是棵枯樹。

エストラゴン 涙もつきてか、
ウラジミール でなけりや季節のせいだ。
エストラゴン だが、こいつはどっちかっていったら喬木じゃないか。
ウラジミール 灌木だよ。
エストラゴン 喬木じゃないか。
ウラジミール 灌木？そりゃいったいどういう意味だね。場所をまちがえているとで
エストラゴン もう、きてもいいはずだからな。電車に乗って。

シーン・3【欲望という名の電車】テネシー・ウィリアムス：作

ブランチ 「欲望」という名の電車に乗って、「墓場」という電車に乗り換えて、
六つめの角でおりるように言われたのだけど・・・「極楽」というところ

ウラジミール そんなら、あんたの、立ってるところだよ
ブランチ 「極楽」が
エストラゴン そうそこが「極楽」さ
ミッチ ブランチ
ブランチ ミッチ
ミッチ ひとつ質問していい。
ブランチ いいわ、なかに、
ミッチ あなたいくつですか
ブランチ なぜそんなこと？
ミッチ おふくろにあなたのこと話したんです。そしたら、そのブランチって
人、いくつなの？って。それに答えられなかったんです。おれ。

ブランチ 私の事、お母様に話したの？
ミッチ ええ。
ブランチ なぜ？
ミッチ あなたがすてきな人だって言ったんです。おれ、好きだって。
ブランチ それ、本心から？
ミッチ おわかりでしょう、それぐらい。
ブランチ なぜ、お母様が私の年のことなど？
ミッチ おふくろは病気でしてね。
ブランチ ああ、お気の毒に。ひどくお悪いの？
ミッチ そう長くないでしょう。たぶん、あと二、三か月。
ブランチ まあ。
ミッチ 心配してるんですよ、おれがまだ身を固めてないで。
ブランチ そう。
ミッチ 早く女房を持たせたがってるんです。ぐずぐずしてると自分が・・・
声がかすれ二度咳払いする。両手をポケットに入れたり出したりし
ながら 神経質に動き回る

ブランチ ずいぶん、お母様思いなのね。
ミッチ ええ。
ブランチ あなたは真心こめて人を愛することのできるかた。お母様が亡くな
られたら、お寂しいでしょうね。(ミッチは咳払いしてうなずく)私にも
寂しい気持ちか？
ブランチ 私も人を愛したことがあり、その愛した人を失ってるか
死んだのですか？

間

ミッチ 男の人？
ブランチ 男というより、まだ少年だったわ、わたしもほんの少女だった。一六
で私、初めて知ったの・・・恋というものを。それも突然。知りすぎる
ほど知ってしまった。
それまでなかば影になっていたものが、いきなり目くるめく光にさら
されたように、世界がパッと私の前に立ち現れた。でも、運が悪かつ
たのね、私。だまされていたの。その少年にはどこか変わったところ
があったわ。神経質というか、傷つきやすいやさしさというか、そう
いう男らしくないところ・・・見かけはちっとも女性的ではなかったけ
ど・・・やはり・・・そういうものがあって・・・あの子は私に救いを求め
てきたの。それが私にはわからなかった。二人で駆け落ちし、戻っ
てきて結婚するまで、何にもわからなかった。うすうす気が付いてい
たのは、なぜだか見当もつかないけどとにかくあの子の期待を裏切
ったということ、あの子が求めていながら口に出せないでいる救
いを与えてやれなかったということ、それだけ、あの子は蟻地獄に
落ち込んで私にしがみついていた・・・それなのに私は、引っ張り出
してやらずに、一緒にはまり込んでしまった！それが判らなかつた
の、わたしには。ただ、たまたま好きなのに、あの子を救う事も、自
分を救う事も出来ない、ということがわかってるだけで。そしてある日
わかつたの。いやってというほど思い知らされた。だれもいないと思っ

SE・外で機関車の近づき音。ブランチは両手でしっかり耳をおさ
かがみこむ。機関車が轟音を立てて通過するとき、ヘッドライトがギ
ラギラと部屋に差し込む。

そのあと、わたしたちは何事もなかったような顔をして、そう、三人で
ムーン・レークのカジノまで車を飛ばしたわ・酔っぱらって、笑いだ

遠くでかすかに「Warsaw Village Band - Chassidic Dance」(M・5)が
流れ出す。舞踏会の会場になり、ミッチと踊るブランチ。

私たち「ワルジャワ舞曲」を踊ったの！ダンスの途中で突然、私の
夫であるその少年は私を突き放してカジノから飛び出して行った。
そして間もなく・・・銃声一発！

突然、ワルジャワ舞曲がやむ。・・・やがて、再び聞こえ出す。

私は駆けだした・・・みんな・・・駆け出して行って、湖の岸辺のあの
恐ろしいものをとどろかこんだ！人だかりで近寄れないでいたら、誰か
が私の腕を掴んで言ったわ、「そばへ行っちゃだめだ！こっちへお
いで。あんたが見るもんじゃない・・・」見る？見るって何を？その時
みんなの叫び声が聞こえた・・・アラン！アランだ！グレーさんの息
子だ！あの子はピストルを口に加え、ぶっ放したの・・・だから頭の

ブランチはよろめき、顔をおおう。

愛斯特拉岡
弗拉季米爾
愛斯特拉岡
弗拉季米爾
愛斯特拉岡
弗拉季米爾
愛斯特拉岡

白蘭琪
弗拉季米爾
白蘭琪
愛斯特拉岡
米奇
白蘭琪
米奇
白蘭琪
米奇
白蘭琪
米奇

白蘭琪
米奇
白蘭琪
米奇
白蘭琪
米奇
白蘭琪
米奇
白蘭琪
米奇
白蘭琪
米奇

白蘭琪
米奇
白蘭琪
米奇
白蘭琪
米奇

米奇
白蘭琪
白蘭琪
米奇
白蘭琪
米奇

看不見垂枝。
或許還不到季節。
看上去簡直象灌木。
象叢林。
象灌木。
象一。你這話是什麼意思？暗示咱們走錯地方了？
他應該到這兒啦。搭著列車
第三場《慾望號街車》
他們讓我搭「慾望」號街車，再轉「墳墓」號，坐大約六條借，然後再“天
堂區”下...

那就是妳現在站的地方
你說天堂？
對，那里就是天堂。
白蘭琪——
恩，親愛的？
我可以問你個問題嗎？
可以。什麼問題？
你多大歲數？
你幹嘛想知道這個？
我跟我母親講到你。她問：“白蘭琪多大？”我沒法告訴她。

你跟你母親講起過我？
是的。
為什麼？
因為我對她說你很好，我喜歡你。
這事你是真心的嗎？
你知道我是真心的。
你母親為什麼想知道我的歲數？
我母親有病。
我聽了很不安。病得厲害嗎？
她活不長了。也許隻能活幾個月。
啊。
她擔心我成不了家。
哦。
她希望我成家之後她才——
他聲音沙啞，嗓子清了兩次，兩手一會兒插進口袋，一會兒又伸了出
來，緊張地挪動腳步)
你很愛她，是嗎？
是的。
我看你很有孝心哩。她過去的話，你會寂寞的，是嗎？(米奇一麵清嗓
子，一麵點頭)我知道那種滋味。
寂寞嗎？
我也愛過一個人。我愛他而又失去了他。
死了嗎？

頓。

是男的嗎？
他是個小夥子，一個小家夥，那時我還是個小姑娘。我才十六歲，就發
現了——愛情。

正像你突然用探照燈轉向某些一直處於半黑暗中的物體，這就是如何
突然使我豁然開朗。然而，不幸的是，我上當了。那個小夥子有點與眾
不同，他神經質、軟弱、溫順，不像男人應有的性格，雖然看上去他一點
也不女人氣——不過——那種東西還是存在……他來找我幫忙。我什
麼都不知道。知道我們結了婚我才發現，那是我們私奔之後回來，而我
隻知道自己莫名其妙地叫他失望，而且不能滿足他那不可告人的需
要！正像他陷入流沙裏，拚命的抓住了我——可我沒有把他拉出來反
而和他一起陷下去了！我並不知道那個事。我什麼情況都不了解，隻知
道我不能不愛他，我既不能幫助他又顧不得自己。後來我發現了。那
是在最壞的情況下發現的。我突然闖進一間我原以為是空的屋子——可
他不空，裏麵有兩個人

外麵有一輛機車從遠處駛進。她用手掩著耳朵，彎腰蹲下來。機車隆隆
開過時，車燈把室內照的通明。

後來我們假裝沒事一樣。對了，我們三個人一個驅車上月光湖遊樂場，
一路喝的醉醺醺，嘻嘻哈哈。

遠處傳來音樂的低調波爾卡舞曲

我們和著“瓦所維爾納”跳舞。在跳舞中間，跟我結婚的那個小夥子突然
甩開我，跑出遊樂場。不一會——聽見一聲槍響！

爾卡舞曲戛然而止。波爾卡舞曲複起，漸漸成為基調

我跑出去——所有的人也都跑出去了！——大家都跑到湖邊圍著那個可
怕的東西。人很多，我擠不進去。後來有人抓住我的胳膊說：“別再往前
靠了！回來吧！你不要看的！”看？看什麼？這時我聽到有人喊——
艾倫！艾倫！憂鬱的小夥子！他是把手槍插進嘴裏開的槍——因此，
他的後腦勺——給打跑了！

そうだったのは…ダンスをしている時…自分を抑えきれなくなつて…だしぬけに、私、こう言ってしまったからなの…「見たわよ！なんていやらしい！男同士で…」その途端、世界を照らしていた目くるめく光がぶつたり消え、それ以後はもとの暗闇に閉ざされたまま、たまに一瞬さしこむ光があるとしても、この…台所の…ろうそ

ミッチはランチに近づくと、ワルシャワ舞曲が高まる

ミッチ (両腕でランチを抱き寄せ)あなたにはだれかが必要だ。俺にも誰かが必要だ。それが、…あなたとおれでは？。

米奇

ランチ 神様が…時にはこんなに早く！
全員 **暗転！(音楽やむ)**

白蘭琪

全員

ウラジミール よかったな、おかげで時間がたつたな。
エストラゴン たつき、時間は。
ウラジミール ああ、だが、もっとゆっくりだな。
エストラゴン もう行こう。
ウラジミール だめだ。待つんだ、ゴドーさんを。待つんだ「最後の瞬間」を
エストラゴン ああ、そうか。
ウラジミール 変わったな。
エストラゴン 誰が。
ウラジミール あの人たちさ。
エストラゴン そうかもしれない、変わらないのは俺達だけだ。アイタ！こんどはこっちの足だ。
ウラジミール 遊んでると、時間はたつものだな。
エストラゴン 何しようか、こんどは。
ウラジミール ゴドーを待ちながらか。
エストラゴン そう、ゴドーを待ちながらだ。
ウラジミール 少し運動をしたら。
エストラゴン 運動を。
ウラジミール・ エストラゴン 運動を。
エストラゴン 美容のために。

弗拉季米爾 愛斯特拉岡 弗拉季米爾 愛斯特拉岡 弗拉季米爾 愛斯特拉岡 弗拉季米爾 愛斯特拉岡 弗拉季米爾 愛斯特拉岡 弗拉季米爾 愛斯特拉岡 弗拉季米爾 愛斯特拉岡

弗拉季米爾 愛斯特拉岡 弗拉季米爾 愛斯特拉岡 弗拉季米爾 愛斯特拉岡 弗拉季米爾 愛斯特拉岡 弗拉季米爾 愛斯特拉岡

ウラジミール 体操を。
エストラゴン 美容のために。
エストラゴン 三転倒立を！
ウラジミール

愛斯特拉岡 弗拉季米爾 愛斯特拉岡 弗拉季米爾

全員の三転倒立による「Wu Bai&China Blue【慕仔埔也敢去 Go to the graveyard】Official Music Video(M・6)の大合唱。

全員 ♪ 焰のように燃えようよ
恋をするなら愛するならば
夜はバラ色 夜明けもバラ色
今日も明日も明後日も
A A A III EEO AIO
焰のように燃えようよ
恋をするなら愛するならば

ウラジミール ここはどこ？ あんた知ってるだろう？随分長く暮らしてきたんだか
エストラゴン どこだったっけ、ずいぶん昔のことだからね。どこか砂漠の方で戦争が始まっていたのだけは覚えてるけど……。ここはどこだったっ

弗拉季米爾 愛斯特拉岡

ウラジミール 公衆便所だ。
エストラゴン 公衆便所？
ウラジミール そう。音楽付公衆便所だっ！
エストラゴン ちがうよ、倉庫だよ。
ウラジミール 倉庫じゃないよ。
エストラゴン じゃあ、墓場だ！
ウラジミール 墓場だ！墓場の戦場だ
二人 瓦礫の戦場！ 戦場のピクニックだ！

弗拉季米爾 愛斯特拉岡 弗拉季米爾 愛斯特拉岡 弗拉季米爾 愛斯特拉岡 弗拉季米爾 愛斯特拉岡 弗拉季米爾 愛斯特拉岡 弗拉季米爾 愛斯特ラ岡

這是因為----在舞池裏----我克製不了自己----我突然說：“我看見了！我知道了！你討厭我……”這時，一度照亮了世界的探照燈又熄滅了，從此以後一會兒也不會有過比這個----廚房裏的----蠟燭更亮的燈光……

米奇笨拙的站起來靠近他。波爾卡舞曲漸響。

(慢慢把她摟到懷裏)你需要一個人。我也需要一個人。你我----可不可呢，白蘭琪？

有時候——上帝啊——那麼快！

暗場!

シーン・4【戦場のピクニック・1】

戦闘は、今やたけなはである。
戦場。舞台には張りめぐらされた鉄条網、砂囊の山。
爆弾の炸裂音、ライフルの銃声、機関銃の火を吹く音。
舞台上には、腹這いになった少年兵のザボが只一人、砂囊の間で震えている。やがて戦闘は中止される。静寂……。
ザボは起き上がり、傍らの裁縫箱の中から毛糸の玉と編み針を取り出し、セーターを編み始める。突如、無線電話が鳴る。

ザボ モシモシ、モシモシ……はっ、そうであります、こちらは五二七二部隊、一七八五監視所であります……はっ、今のところ異常ありません。大尉殿、次の戦闘はいつ開始されるのでありますか？……いえ、いえ、そんな積りで言ったものではありません。私一人で心細いのであります、仔猫一匹でも結構なんです……(どうやら彼は上官に叱られたらしい)分かりました、大尉殿……。 (受話器を下したあと、口の中でぶつぶつと独り言のように)編み棒一号、やっぱりムダだったね。今度は別の方法で頼んでみよう、編み棒二号……

オートバイの止まる音。
すると、テバン夫妻、大量の荷物を持って登場。

テバン氏・テバン夫人 お前！

戴班夫妻

ザボは吃驚仰天して飛び上がる。母親に近づいて恭しく接吻す

ザボ 父ちゃん、母ちゃん！何だってこんな危ないところへやってきたの？お願いだ、すぐに帰ってくれよ！
テバン氏 なおに、わしに言わせりゃこれ位の戦争、遊びみたいなもんだ。お前は知らんだろうが、わしは昔走っている地下鉄から何度もとび下りたことがあるんだぞ。

渣波 戴班

戦火正激烈。
戦場。舞台上覆滿鐵絲刺網和沙包。
步枪射擊、砲彈爆炸、機關槍掃射聲。
渣波獨自在台上、腹部貼地、藏身沙包間。他極驚懼。戰火聲停止。寂靜。
渣波從帆布包中取出毛線團和幾根針，開始織毛衣，毛衣已大體成形。一旁的戰地電話乍響。

喂，喂……是，司令官……是，我是47區崗哨……沒有狀況，司令官……對不起，司令官，請問什麼時候會再開打？我的意思是我要怎麼用子榴彈？往前扔還是往後扔？……別誤會，我沒有要找您麻煩……司令官，我只是覺得非常非常孤獨，您可以送個誰來跟我作伴嗎？……就算是隻母羊也好。(司令官顯然在嚴厲譴責他。)您說了算，長官，您說了算。

渣波掛電話。他喃喃自語。寂靜。戴班夫婦出現，帶著幾個野餐籃。他們趨近兒子，兒子因背向他們而未察覺。

我的兒！

渣波驚訝站起，恭敬地親了母親額頭。

可是，爸、媽，你們怎麼敢大老遠跑來這麼危險的地方？你們得趕快離開。所以你是想要告訴我爸爸什麼是戰爭，什麼是危險是嗎？這一切對我來說都只是兒戲。有多少次我從奔馳中的地鐵上跳下來！這只不過是隨便舉個例子而已。

ゼボ 厭だって言ったら厭だよ。
ザボ でも、どうしてそんなに厭がるの？
ゼボ 僕には婚約者がいる。もしもあの子にそんな写真を見られたら、「あなた戦争のやり方も知らないの」って言われるじゃないか。
ザボ その時はこうやってやるさ。ころがってるのは僕じゃない、仔猫だっ
テバン夫人 さあ、「はい」って言いなさい！
ゼボ 仕方がない、君たちのために仔猫になってやろう。

傑波
渣波
傑波
渣波
戴班
太太
傑波

不要——我很堅決喔。
但是你為什麼不要？
我訂婚了。要是有一天讓她看到照片，她會認為我連打仗都不會。

她不會看到，萬一看到你就說那不是你是你，那是一隻豹。
拜託，你就答應嘛。
好啦。就看在你的份上。

傑波躺下。渣波腳放在他腹部並威武地持槍。

テバン氏 一……二の……三。(ストロボ一閃)
シーン5【ロミオとジュリエット】ウイリアム・シェイクスピア作。

戴班

一……二の……三。(閃光)

第五場《羅密歐與朱麗葉》威廉·莎士比亞

長得有點像白蘭琪和米奇的羅密歐與朱麗葉不知道為什麼用意大利文瘋狂地唱「Milva - Bella ciao」(M・8)上場。

先程のプランチとミッチにどこか似ているロミオとジュリエットが、**何故か、イタリア語で「Milva - Bella ciao」(M・8)を熱唱して登**

Una mattina mi son' svegliato O bella ciao, bella ciao, bella ciao, ciao, ciao
Una mattina mi son' svegliato E ho trovato l'invasor O partigiano, portami via O bella ciao, bella ciao, bella ciao, ciao, ciao
O partigiano, portami via Ché mi sento di morir

ジュリエット もういらっしやるの？ 朝はまだまだこなくてよ。 朱麗葉

ロミオ どこかでヒバリが、あれは朝の到来を告げるさきぶれ……ジュリエット、ごらん、あの東の空、意地悪な光の縞が雲の裂け目を縁どっている。もう行かねば、生きるべく。とどまれば死ぬのだ。

羅密歐

ジュリエット 待って、ロミオ！ あれは朝の光ではないわ。ほんとうよ、あれは夜空にときどきあらわれる単なる光、今夜あなたのために松明持ちになって、マンチュアまでの夜道を照らそうと思っているのよ、だからここに、まだいらっしやらなくてもいいのよ。

朱麗葉

ロミオ ぼくは捕まえてもいい、殺されてもいい、それで本望だ、きみがそう望むなら。ぼくだって行きたくない、どんなにとどまりたいか、死よ、来るなら喜んで迎えるぞ。ジュリエットの望みだから。どうした、ぼくのいのち、話をしよう、まだ朝ではない。

羅密歐

ジュリエット いいえ、朝なのよ、行って、早くいらっしやって。あれはヒバリよ、調子はずれの歌をうたう耳ざわりな声を出しているのは、ヒバリは美しい旋律をうたうという人もある。でもあのヒバリはちがう、私たちを引き裂く歌ですもの。あなたをここから追いたてる意地悪な歌……さ、だんだんに明るくなるわ。

朱麗葉

ロミオ ああ、明るくなればなるほど、二人の心は暗くなる。
ジュリエット、ふと奥に耳をすます。

羅密歐

ジュリエット お母様がおきたわ。
ロミオ もう行かなくては……さようなら、もう一度口づけを。
ジュリエット このまま行ってしまおう？ お手紙くださるわね、毎日よ、一分間が何日にも思える……

朱麗葉

羅密歐

朱麗葉

ロミオ さようなら、あらゆる機会をのがさず、きつと便りはする、いとしいジュリエット。

羅密歐

ジュリエット ああ、私たち、また会えるかしら？

朱麗葉

ロミオ 会えるとも、そしていまこの悲しみがそのときは楽しい語りぐさとなるだろう。

羅密歐

ジュリエット ああ、私、なにか胸底に悪い予感が、あなたがそこにいらっしやるのを見ると、お墓の底に眠る、死人を見ているような気がして。私の眼が悪いのか、あなたのお顔が蒼白いのか。

朱麗葉

ロミオ そういえば、ジュリエット。ぼくの目にもきみの顔もそう見える。悲しみが血を飲みほしたせいで。さようなら、さようなら。

羅密歐

シーン6【戦場のピクニック】

ザボ 旨く撮れてるといいんだけどな。
テバン夫人 大丈夫、如何にも兵隊さんらしい感じだったわよ。私も一枚撮ってほしくなったわ。

渣波
戴班
太太

テバン氏 そうだ、記念にな。
ザボ 僕がシャッターを切ってあげようか？
ゼボ 未だ撮るのかい？ 勘弁してくれよ。
テバン氏 (妻の袖を引いて)無理にやらせない方がいいよ。捕虜つてのは感じやすいんだ。急に暴れ出さないとも限らない。そうになったら、折角の楽しみもおじゃんだからね。

戴班
渣波
傑波
戴班

一同、しゅんとする。
全員、食事の位置につく。

テバン氏 ところで君、射撃の方はどうだった？命中したかね、敵兵に。
ゼボ 何のことです？
テバン氏 何のことって、君はここで「戦争」をしてるんだらう？
ゼボ 戦争？大げさですよ、そんな……実を言うと射撃の方は大したことはないんです。

戴班
傑波
戴班
傑波

テバン氏 自信がないんだな。
ゼボ だって……僕は狙いをつけずに発射するんです。(間)引き金を引くとき、僕は命中した人のために、「なーむ」って唱えることにしてま

戴班
傑波

ザボ 「なーむ」？「なんまいだ」じゃないのかい、君は？
ゼボ いや、僕はいつも「なーむ」だ。(間)この方が短いから。
テバン氏 もっと図太くならんといかん。

渣波
傑波
戴班

テバン夫人 (ゼボにあの……何なら縄をほどいてあげましょう？
ゼボ いや、いいです、どうぞお構いなく……。
テバン氏 痩せがまんすることはないじゃないか、ほどいて貰いたかったら

戴班
太太
傑波
戴班

はつきりそう言った方がいいよ。
本当に遠慮なんかなさらないで。
テバン夫人 それじゃ、足だけでもほどいて頂きましょうか、折角だから。
ゼボ ほどいて上げなさい。(ザボは縄をほどく)

戴班
太太
傑波
戴班

希望能成功。
很好，你看起來像個軍人。。我也想跟你拍一張。

(對妻子):別勉強他，犯人總是很敏感的。再弄下去他不高興我們也很掃興。

那你呢？你的射擊成績怎麼樣？打中了敵人了嗎？
你在說什麼？
說什麼？你不是在打仗嗎？
打仗？我不怎麼樣。其實不算什麼好成績。

你沒有信心吧？
那個，其實……我射擊的時候都沒有瞄準。(停頓)而且同時我會幫那個被我射的人念聖母經。
聖母經？我以為你會念主禱文。
沒有，我都是念聖母經。(停頓)那比較短。
拜託，老弟，你得勇敢點。
(對傑波):我們可以把你放開，你想要的話。
不用，不用麻煩，沒關係。
別跟我們客氣了。你如果想要我們放開你，說一聲就好了。

讓你自己舒服點。
那，如果你們覺得這樣比較好，可以鬆開我的腳，不過這是看在你們的渣波，放開他。(渣波鬆綁。)

テバン氏 いやいや、一向にお役に立てないで。
戴班
衛生兵1・2、退場する。

テバン夫人 (感動して) 戦場で過ごす日曜日って本当に楽しいものね、みんないい人ばかりだし……(間)でも不思議だわ、どうしてあなたは敵なんでしょう？ 生まれた時からそうなの？ それとも後で？

ザボ 何がですか？
テバン夫人 いえ、あなたが敵になったのはいつのことかって聞いてるんです。
ゼボ 分りません、そのことについて丸っきり分らないんです。
テバン夫人 じゃ、どうして戦争なんかには駆り出されたの？
ゼボ ♪或る日、僕は家でお袋のアイロンの修繕をしていました。そこへ一人の男が尋ねてきて「Francisco Tárrega: Tango Maria」(M・10)のメロディ

ある男 ♪君は戦争に行くんだ
ゼボ ♪どここの戦争？
ある男 ♪采れたね！君は新聞を読まないのか？
ゼボ ♪新聞は見ただけど、
ゼボ・ザボ ♪戦争の記事は読まなかったって……。
ザボ・テバン 全く同じだ。
テバン夫人 全く同じじゃなかったわ。あの日はお前、アイロンの修理じゃなく、車の修理をしてたんじゃないの。

ある男 ♪君は戦争に行くんだ
ザボ ♪どここの戦争？
ある男 ♪采れたね！君は新聞を読まないのか？
ザボ ♪新聞は見ただけど、
ゼボ・ザボ ♪戦争の記事は読まなかったって……。

テバン氏 わしらはその後の話をしているんだよ。(ゼボに)それから、どうしたんだね？ 戴班

ゼボ ♪僕には婚約者がいて、日曜日は映画に連れて行くことになってる。もし僕がいなくなったら彼女は時間を持て余すに違いない。
ある男 ♪そんなことは問題じゃない。
ゼボ ♪じゃあ、婚約者も一緒に行ってもいい？
ある男 ♪駄目だ。
ゼボ ♪それじゃあ、毎週木曜日にお好み焼きを作ってくれる僕の叔母と一緒に行きたい！

テバン夫人 (忘れ物を思い出したように) ♪あ、お好み焼き！
ゼボ ♪だけど、矢張りそれも
ある男 ♪駄目だ。
ゼボ と、断られました。

ゼボ・ザボ ♪それ以来、僕は塹壕の中で一人で暮らしているんです。
テバン氏 なるほどね……。
テバン夫人 ♪話を聞けば二人ともよく似てるし、お互い退屈してるようだから、どうお前、この捕虜の方と午後と一緒に遊んだら？

ゼボ ♪捕虜！
ザボ ♪冗談でしょう！この人は敵なんだぜ！師団長が何て言ってるか知らないんだろう？敵の軍隊は卑劣だから、捕虜の靴下の中に砂利を入れて歩けないようにしてしまうんだって。

テバン夫人 ♪砂利！？まあ非道い！何て野蛮なんだろう！
テバン氏 (怒って、ザボに) ♪砂利！君はそんなごろつき軍隊に所属しながら、よくも平気な顔をしてられるな！

テバン氏 縄なんかほどいてやるんじゃないか？わたしらの靴下の中に砂利を入れるような手合とは、もう口も聞きたくないよ、全く非道い！

ゼボ 非道いことを言わないで……。
テバン氏 どうしろと言うんだね？わしは大いにショックを受けたよ。こうなった以上、わしは隊長に会って、すぐに戦争に生かしてくれるよう頼ん

ザボ 無理だよ、その年じゃ。
ゼボ 実をいうと僕たちの師団長も全く同じことを言ってるんです、あなた方の軍隊は捕虜の靴下の中に……。

テバン夫人 よくも抜けぬけど、そんな嘘を！
ザボ 何だって？……やっぱり同じことを言ってるのかい、君たちの師団

テバン氏 ああ、そうだよ。
テバン氏 (考えて) 恐らく、同一人物なんだらう。
ザボ・ゼボ・テバン夫人 同一人物？

テバン氏 ああ、お前たちにそんな話をして聞かせたのは、
テバン夫人 変な人、夢の中じゃあるまいし。
テバン氏 夢？

シーン・7【踊る小人・2】

ある女A その夜、久しぶりに、
ある女 夢の中にまた小人があらわれた。

「Francisco Tárrega: Tango Maria」(M・11)が流れる。

小人 あんたは何かあたしに頼みごとがあるんじゃないのかい？
男 頼みごと？なんだい、頼みごとって？
小人 あの子の事だよ。象工場に入った綺麗な彼女。あの子がほしいんじゃないのかい？

男 だからってあなたに頼んでどうなる。自分でなんとかするしかない
小人 あなたの力じゃなんともならん。
男 (ムツとして) そうかい。
小人 ああ、なんともならんものはなんともならん。が、俺が力を貸せばなんとかなる。

男 あなたの力？
小人 踊りだ。あの子は踊りが好きだ。あの子の前でうまく踊りさえすれば、あの子はお前さんのもの。

男 踊りを教えてくれるのか？
小人 教えてもいい。でも一日や二日教えたくらいじゃ、どうしようもない。最低半年は必要。でなきゃ、人の心をとらえる踊りではできん。

男 半年待ってたらどこかの男が彼女を口説きおとしちゃう。
小人 いつ踊るんだね？
男 明日の夜、彼女は踊りに行く。僕も行く。そこで彼女に踊りを申し

手段がないわけじゃない。本当にその女が欲しきゃ、
小人 きかせてくれ、その手段。

男

没問題。老弟、不足掛歯。

他們準備離去。

禮拜天在鄉下度過真的是太愉快了。總是會遇到好人。(停頓。)不過你們倆是怎麼變成敵人的？是天生的，還是後來才變成敵人的？

您在說什麼？

不不，我在問妳們什麼時候當了敵人？

我不曉得，我完全沒概念。

那麼，你是怎麼捲進這場戰爭的？

♪有一天，我在家裡，正在修理我媽的熨斗，有個人來問我

「Francisco Tárrega: Tango Maria」(M・10)のメロディ

♪你得當兵去打仗

♪打什麼仗？

♪你都不看報的嗎？真是個鄉民！

♪我看報的呀，

♪可是沒看到什麼打仗……

就跟我一樣

才不，並不完全一樣；那天你不是在修理熨斗，你是在修車。

♪你得當兵去打仗

♪打什麼仗？

♪你都不看報的嗎？真是個鄉民！

♪我看報的呀，

♪可是沒看到什麼打仗……

那個無關緊要。(對傑波) 後來呢，然後怎麼樣？

♪我有個未婚妻，假如我禮拜天沒帶她去拍照她會不高興。

♪那個人就說這一點也不重要。

♪可不可以帶未婚妻一起？

♪不行

♪能不能帶我姨媽一起，這樣她就可以每個禮拜四做布丁給我吃；我超喜歡她的布丁。

♪(想起來)：啊！布丁！

♪他又說

♪不行。

♪從那時候開始我就差不多一直窩在壕溝裡。

♪我覺得你跟你這位特別的囚犯今天下午可以一起玩，反正你們這麼像而且又這麼無聊。

♪

♪不行，媽，我怕，他可是個敵人。你不知道將軍怎麼說這些敵人的！

他說敵人非常惡劣。他們逮到俘虜就會把小石子放進他們的鞋子讓他們走路的時候痛得要死。

♪太可怕！太野蠻了！

(怒，對傑波) ♪ 你身在一支無恥的軍隊裡不覺得可悲嗎？

我們不該幫他鬆綁。你怎麼知道，等我們一不注意他不會在我們的鞋子裡放石頭。

不要這樣。

你覺得我們該怎樣？我火了。我知道該怎麼做了。我要去見司令官請求

他讓我參戰。

他不會答應的，您太老了。

我們的將軍也這樣講你們，講得一模一樣。

他怎麼敢信口開河！

不會吧——可是真的是一模一樣？

對，一模一樣。

或許跟你們兩邊講話的是同一個人？

第七場《跳舞的小人2》

那天晚場久違的

小人又出現在我夢裡。

「Francisco Tárrega: Tango Maria」(M・11)

對了，你可有什麼事求我？

有事求你？我能求你什麼呢？

那個女孩的事。不是想得到的那個在象工廠新進來的漂亮的女孩嗎？

想倒是想，可求你不頂什麼用吧？只能由自己想辦法。

你想辦法也沒用。

(有點冒火)是嗎？

當然，想也沒用。沒用就是沒用。不過，我若助你一臂之力，或許能有眉目。

你助什麼力？

跳舞。那女孩喜歡跳舞。所以，只要你在那女孩面前跳舞跳得好，那女孩

保准屬於你的。

你能教我怎麼跳？

教倒可以。只是一兩天教不出名堂，天天練起碼也得練半年才行。不然

跳不出打動人心的舞來。

等上半年，她早就給哪個小子甜言蜜語攻破了。

什麼時候跳？

明天晚上，她去舞廳跳舞，我也去，在哪裡請她跳舞。

也不是沒有手段。如果你真想得到那女郎的話？

講給我。到底是什麼手段？

小人 俺がお前さんの中に入るんだ。そして、お前さんの体を借りて俺が小人踊る。

男 僕の中に入り込んで？本当にそんなことができるのか？

小人 俺の。そうすればあの子はお前さんのもの。心配はいらん。いくら俺だってそんなに簡単に未来永劫、他人の体をのつことはできない。そうするには契約が必要だ。お互い納得すくでなくちゃ、できない。あんた、未来永劫、俺にこいつをのつられたかないだろ？

男 当たり前だ！

小人 だけど、俺も無償であんたの口説きに力を貸すというも面白くない。(指を一本あげ)ひとつ条件がある。

男 どんな？

小人 俺があんたの体の中に入る。女を誘い、踊ってたぶらかす。そしてあんたは女をモノにする。そのあいだあんたはひとことも口をきいちゃならん。声を発してもならん。女を完全にモノにしちまうまで口をきかなきゃ口説けないよ。

男 いや、俺の踊りがあればどんな女だってモノにできる。心配はいらん。だから女をものにするまで絶対に声を出してはならない。わ

男 もし声を出したら？

小人 その時はあんたの体をもらう。

男 もし声を出さずにうまくやりとおしたら？

小人 女はあんたのものさ。あたしはあんたの体を出て瓦礫の町の塔の下に戻る。

男 (深いため息をつき、どうすれないか思索する)のるよ。

小人 決まり。

男

シーン・8【戦場のピクニック・3】

テバン氏 これでも先週の日曜日よりは未だまだよ。

ゼボ 先週の日曜日にどうかしたんですか？

テバン氏 田舎へピクニックに出かけたんだよ。ところが一寸よを見をしている隙に象が一匹やってきて、布団の上に拡げた弁当は空っぽ、ナプキンまで食べられちゃった。

ゼボ がめつい象ですね！

テバン氏 そうなんだよ、君。癪にさわたつから

テバン夫妻 二人でその象食べちゃった！（全員大笑い。）

シーン・9【踊る小人・3】

小人が出てくる。
男がしゃべる中、小人と女が踊る。音楽[La Tasca・Guitarra Azul] (M・12)※音楽の中、全員のムービングシーン。

男 僕ははじめのうち、ゆっくり踊った。それから少しずつ少しずつスピードをあげ、ついにはつむじ風のように僕は踊った。僕の体はもう僕の体ではなかった。僕の手や足や首は、僕の思いとは無関係に、奔放にダンス・フロアの」上を舞った。そんな踊りに身をまかせながら僕は星の運行や潮の流れや風の動きをはっきりと聞きとることができた。ダンスとはそういうものだという気がした。僕は足を踏み、手をまわし、首を振り、ぐるりと回った。ぐるりと回ると頭の中で白い光の球がはじけた。女の中でも光がはじけるのが、僕には感じら

小人 どうだい、象工場なんかで働いているよりははずっと楽しかろう。

男 口がからからになっていて、声を出そうとしても出ない。何時間も何時間も踊りつづけた。僕がリードをし、彼女が応えた。それは永遠にも感じられる時間だった。やがて彼女は精も根も尽きたという格好で踊りをやめ、僕の肘をつかんだ。僕も踊りをやめた。そしてフロアの真ん中で、つ立ったままぼんやりとお互いの顔を見つめた。

男、小人と入れ替わる。

男 ダンスフロアを出て、僕たちは瓦礫の町の塔の下まで歩き、何も言わず彼女を瓦礫の中に押し倒した。

女 (笑って)ほんとに無口な人ね。

男(は女に、キスをしようとする。
※ここからは全員によるムービング？

ある女A 彼女の顔つきが変わりはじめたのはその時だった。

ある女B 最初に鼻の穴からぶよぶよとした白い何かが這い出てくるのが見えた。蛆だった。

ある女A これまでに見たこともないほど巨大な蛆だった。

ある女B 両方の鼻腔から蛆は次々に這い出し、むかつくような死臭が突然あたりを覆った。

ある女A 蛆は唇から喉へと転げ落ち、あるものは目をつたって髪の中へともぐりこんだ。

ある女B 鼻の皮膚がずりりとめくれ、なかの溶けた肉がぬるりとまわりに広がり、あとにはふたつの暗い穴がのこった。

ある女A 蛆の群れはなおもそこから這い出ようとして、腐った肉にまみれて女の顔はどこまでも溶けつづけていた。

ある女B 筋肉が何かの拍子にねじれてしまったらしく、顎のたかがはずれてぱっくりと開き、ペースト状の肉と膿と蛆のかたまりが、そのいきおいでまわりにとびちった。

ある女B 僕は覚悟を決めて目を閉じた。

ある女A 目を閉じると草原をわたる風の音が聞こえた。

ある女B 背中にはしっかめと女の指が食いこんでいるのが感じられた。

ある女A 僕は思いきって女の体に手をまわし、こちらに引き寄せ、その腐乱した肉のかたまりの、かつて口があったと思われるあたりに唇をつけぬるりとした肉片、ぶつぷつとした蛆のかたまりが僕の顔に触れ、絶えがたいほどの死臭が僕の鼻腔にとびこんできた。

ある女A しかしそれはほんの一瞬のことだった。

ある女B 目を開けたとき、(音楽やむ)僕はもとの美しい女と口づけをかわして

小人 (ぐったりとした声で)お前さんの勝ちだよ。女はお前さんのものだ。あたしは出ていく。しかしこれで終わったわけじゃない。あんたは何度も何度も勝つことができる。しかし負けるのはたった一度だ。あんたが一度負けたらすべては終る。そしてあんたはいつか必ず負ける。それでおいませ。(去る)

シーン・10【戦場のピクニック・4】

我進到你身體裡去，然後借你身體我要跳舞。

真能進我身體內跳舞？可那真能做到？能。那一來，那女孩肯定是你囊中物，我敢保證。別擔心。我再有本事，也不至於將別人身體輕易據為己有。那是需要簽合同的。就是說只有雙方同意才辦得到。你不想永遠出讓身體吧？

那當然。
不過若是完全無償地幫你哄騙女孩，我也沒意思，這樣好了。(伸出一指)有個條件。
什麼條件？
我進入你體內，並進舞廳邀女孩跳舞，討她歡心，而由你對女孩隨心所欲。在女郎徹底到手之前你一句話也不得出口，不得出聲。

不開口，無法哄得了女孩呀。
不，只要我的舞，任何女人都乖乖就擒，放心就是。所以女郎徹底就范之前萬萬不得出聲，聽明白了？

要是出聲呢？
那時你的身體就成我的了。
如果一聲不出地順利結束？
女人就是你的。我從你體內出來返回瓦礫城鐵塔下。

(深歎口氣，思索到底如何是好)好吧。
一言為定！

第八場《戰場上的野餐3》

無論如何，也比上個禮拜天的好。
怎麼？
我們跑到鄉下去，把吃的放在野餐墊上。一轉身一頭牛就把它們全吃了，連餐巾紙也不放過。

好貪吃的牛！
沒錯，可是結果呢，為了報復，我們吃了那頭牛。(大家大笑)

起給我跳得很慢。隨後一點點加快速度，最後竟跳得旋風一般。我的身體已不是我的身體。我的手、腳、頸頭自行其是地在舞池裡淋漓酣暢地跳之舞之。我可以在任其跳動的同時清晰地聽取星斗的運行潮水的湧流聲風的拂掠聲。我覺得所謂跳舞即是這麼一種東西。我踢腿、揚臂、擺頭、翩然旋轉。旋轉時腦海中百晶晶的光球紛然四濺。我感覺得出她體內也白光四濺。

如何，比在什麼象工廠勞作快活得更多吧？
口中干巴巴的，想出聲也出不得。我們不知連續跳了幾個小時，我主導舞步，她配合默契。那是堪稱永恆的時間。後來她以實在筋疲力盡的情態止住舞步。抓住我的胳膊。我囊也許該稱為小人囊也停了下來。我們停立在舞池中央面面相覷。

我們離開舞廳，沿河邊行走。只好一個勁兒走下去。她和我都沒開口。我攬著她的肩頭到草地正中，一聲不響把她按倒在地。”

好一個不開口的人！

我的面目發生變異就在這個時候。
最初從鼻孔中有什麼軟乎乎脹鼓鼓的白東西爬出。蛆！

見所未見的大蛆。
蛆從兩側鼻孔一條接一條爬了出來，令人作嘔的死臭突然塞塞四周。

蛆落在她嘴唇，又從嘴唇落往喉部，有的甚至爬過眼睛鑽入頭發。

鼻子表皮一片片卷起，下面溶解了的肉黏糊糊往四周擴展，最後只剩下兩個黑孔。
而蛆群仍從中蠢蠢欲動，蛆身粘滿腐肉。
女郎的臉仍溶解不止。
肌肉像被什麼弄得歪歪扭扭，下顎脫環，嘴豁然洞開，漿糊狀的肉、膿、蛆趁勢一同四濺。

我咬緊牙關，閉起眼睛。
一閉眼睛，傳來風掠過草地的響聲。
我可以感覺出女郎的手指在死死扣進我的背。
我毅然決然攬住她的身體，拉過來朝爛肉上大約曾有嘴的位置吻下去。

黏糊糊的肉片和蠢蠢欲動的蛆團貼住我的臉，難以忍受的死臭直沖我的鼻樑。
但這只是一瞬之間。
睜開眼睛時，我正和原來嬌美的女孩相互接吻。
你贏了，女郎是你的，我離去就是。小人旋即脫離我的身體。不過這不算完，你可以獲勝許多許多次，失敗只有一次。一旦失敗，就前功盡棄。而你遲早必敗。敗就一切都完了。

テパン夫人 (ゼボに) 塹壕の中の生活ってさぞ退屈でしょうね？ そんな時は何を
楽しみに？
ゼボ ボロっ切れで小さな造花を作ってどうするの？
テパン夫人 ボロっ切れで造花を作ってどうするの？
ゼボ 最初は婚約者に送っていました。ところがある日、彼女から、地下
室も温室も造花で一杯になり、どうしようもなくなったって言って来
たんです。
テパン夫人 それで、どうしたの？
ゼボ 何か他のことを習おうと思ったんですが、うまくいきませんでした。
仕方がないので、相変わらずボロっ切れで造花を作っていました。
テパン夫人 作った造花は捨ててしまったの？
ゼボ いいえ、利用法を発見したんです。戦死した仲間到一个づつ付け
てやったんです。そしたら、幾らあっても足りないくらいでした。
なるほど、うまい方法を考えついたもんだな。
テパン氏 (臆病に) ええ。
ゼボ 僕の場合は、それが編み物だったって訳だよ。
テパン氏 そんな戦争なら、いっそのことやめてしまえばいいじゃないか。
ゼボ でもどうやって止めるんですか？
テパン氏 訳ないさ。仲間の一人一人に教えてやるんだ、「敵の方でも戦争を
止めたがってるぞ！」って……そうすりゃみんな家へ帰れるだろ
こいつは凄えや！
ザボ・ゼボ (ゼボに) そうよ、あなたも家へ帰ってアイロンの修繕が出来るじゃな
どうして今迄誰も気がつかなかったんだらう、このことに？
テパン夫人 父ちゃんでなければ考えつかないわよ、こんな名案は……何しろ師
範学校を出てるんですからね、それに郵便切手もあつてるのよ。
テパン氏 「敵の方でも戦争を止めたがってるぞ！」どうだ、簡単だらう？ これ
で万事解決だ。
ゼボ みんなに教えてやろう。
ザボ うん、きつと喜ぶぞ！
テパン夫人 お祝いに、さっきの音楽でもかけましょうか？
ゼボ そうだ、それがいい！
ザボ うん、母ちゃん、音楽をかけようよ！

テパン夫人、音楽をかける。けたたましく無線電話が鳴る 「La
Tasca・Guitarra Azul」(M・13)
誰も気づかない、みんな夢中で隔っている。再び電話が鳴る。ダ
ンスは続く。爆発音、ライフルの銃声、機関銃の音。ゆっくり倒れ
る、四人。

男 (録音の声。無音である。) 小人の言ったことは正しかった。僕に連
捕状が出た。警官隊がやってきて工場をとりかこんだ。僕は一頭の
象にとびのって森に逃げた。僕はもう一ヶ月近く森から森、山から
山へと逃げ回っている。木の実を食べ、虫を食べ、川の水を飲み、
命をつないでいる。しかし警官の数は多い。彼らはいつか僕を捕え
るだらう。僕を捕えたら、革命の名のもとにウィンチにまきつけて八

テパン氏・テ
パン夫人・ザ
ボ・ゼボ (ゆっくり起き上がって) お・し・ま・い。

- 1 おしまい
- 2 しばいはおしまい
- 3 おしまいもしばい
- 4 人生は一幕のお芝居
- 5 芝居の装置は世の中ぜーんぶ
- 6 国も革命も戦争も知っちゃいない
- 7 ただ、自分の役に化けるだけ
- 8 化けて、化けて、化けぬいて
- 9 お墓の中で
- 10 一人で拍手、喝采を聞くんだ
- 1 わたしは わたす
- 2 あなたを わたす
- 3 あなたへ わたす
- 4 わたしもり

※全員が「わたしは わたす あなたを わたす あなたへ わたす
わたしもり」のレインを歌い、踊り続ける。暗くなってゆく。

遠くでラジオからかすかに《**顧榮光歸香港**》抗爭者進行曲
(M・14) が聞こえている。

For all of our tears on our land
Do you feel the rage in our cries?
Rise up and speak up!
Our voice echoes.
Freedom shall shine upon us

何以 這土地 淚再流
何以 令眾人 亦憤恨
昂首 拒默沉 吶喊聲響透
盼自由 歸於 這裡

For all of our fear that lingers
With faith, we shall never surrender.
With blood, tears and sweat,
we shall stride ahead

(對傑波): 你一個人在壕溝裡的時候是怎麼娛樂自己的？

我用碎布做小花來打發時間。真的太無聊了。
那你拿這些花來做什麼？
一開始我會送給未婚妻，可是有一天她跟我說溫室和地下室都已經堆
不下了，她再也知道該拿那些花怎麼辦，如果方便的話，她問我可
不可以送點別的東西給她。
你呢？
我想學著做點別的，可是我不會。所以還是只能做做假花打發時間。

那豈不是只能把它們丟掉？
不用，我想到怎麼用了。我給每個死掉的士兵一朵花。這樣我做再多都
不怕用不完了。
那倒是個好辦法。
(害羞地): 對。
我呢，我是織毛線，這樣就不會無聊了。
那我們可以停戰了。
怎麼停？
很簡單。(對渣波) 你只要告訴你的同志，敵人的軍隊根本不想打仗，而
你(對傑波)也對你的同志這樣講。每個人就可以回家了。
太棒了！
然後你就可以繼續把熨斗修好了。
怎麼會從來都沒有人想到過這個好辦法？
這種點子只有你爸想得出來；別忘了你爸可是上過師範學院的，還是個
集郵專家。
不是很容易嗎？一切都搞定了。

我的戰友會開心得不得了！
我們放上剛剛聽的鬥牛舞音樂來慶祝吧？
完美。
好，唱片放上去吧，媽媽。

她放唱片。戰地電話響起。

沒人聽見。他們忙著跳舞。電話又響。舞繼續。
戰火又起，砲彈的恐怖轟擊，步槍和機關槍掃射聲。四人全不在意，繼
續翩翩起舞。一陣機關槍把他們全數擱倒。他們倒地死絕。一槍削過唱
機；唱片開始跳針，像是有刮痕的老唱片。跳針音樂反覆至劇終。
兩名擔架兵上場，帶著空擔架。

(**錄音的聲音。沒有其它聲音**) 終歸給小人言中。眼下的我正受道全國警
察的追捕。一隊警察前來包圍工廠。我跨上一頭象逃進森林。當時踩死
了幾個警察。就這樣，我差不多一個月從這片森林跑去那片森林從這
座山轉到那座山。靠吃樹果吃昆蟲喝溪水活命。但警察人多勢眾，他們
遲早會逮住我。而一旦被逮，據說恐怕便要以革命的名義把我綁上絞盤
慢慢吊死。

For this glory, lib-eral land

何以 這恐懼 抹不走
何以 為信念 從沒退後
何解 血在流 但邁進聲
響透 建自由 光輝 香港

李冠徳
莊庭瑜
陳守玉
廖庭筠
野田容瑛

廖庭筠
楊智翔

林家綾
鍾汝叡
吳盈萱
戴文欣
周郁翔
楊智翔

陳守玉
李冠徳

周郁翔
陳守玉

わたしがあなたをだれかにわたす。わたしがいっぱいいろんなところへ渡されてゆくということ。わたし盛り…、わたしがてんこ盛り